

迎春



着物美人 勢ぞろい！！

今年は雪が多く寒い冬でしたが 確実に春は近づいていると実感できる今日この頃です。早くかわら版の新年号を出さなくては思っていました。桜まつりの準備に追われすっかり遅くなってしまいました。

今年の新年会は本当に春が来てしまったのかと思うほど華やかな新春行事でした。男女、子供合わせて30人強の人達が 着物でステージに上がり 着物の簡単な歴史や着物の種類、TPOなどについて語らいながらショーを楽しみ、おしゃれを楽しんだ一日となりました。箆筒で寝ていた着物も久々の出番で喜んだと思います。

この着物ショーは大勢のボランティアで支えられて実現しました。その中でも重要な役割を果たしていただいたのが 着付けの豊田さんとその娘さんの素子さんでした。素子さんはFW在住でご両親がお正月を共に過ごすためFWにいらっしゃいました。



律子さん、豊田さん、素子さん

折角の旅行でしたが豊田さんには事前の着付け教室も含めかなりの時間とエネルギーを使ってくださいました。 どうも有難う御座いました。

また、裏方で目立ちませんでしたが髪の毛のセットではReiko Watsonさん、米田律子さんに大活躍いただきました。律子さんは新年会の前日の夜 日本から帰ったばかりで 時差ぼけのなか 髪の毛のセットのほか ショウの最後を飾った振袖の着付けショーでもモデルをやってくださいました。 どうも有難うございました。

『日本の四季と着物』をテーマに着物が紹介されました。
1月から12月まで着物と縁の深い行事などを中心に 着物が紹介されました。
写真で紹介しましょう。

一月はなんと言ってもお正月。一家そろって初詣、そして 成人式の振袖姿です。



お母さんの大正ロマンの訪問着、お嬢さんは中振袖、お父さん役は会場のお客さんに登場いただきました。

一月の第二日曜日は成人式 この年頃は光輝いていますね
この振袖はこのショウのために日本からもちこまれました。
着物もモデルさんもととても綺麗でした。



2月は節分。家庭では子供たちが豆まきをしますが 節分のイベントでは紋付袴の年男が招かれて豆まきをしますね。一升マスが手に入らず 一合マスでお願いしました。

小さくて写真では良く見えませんが、でも豆まきは大きな声で『福は内、鬼は外』と清めてもらいましたので 今年はずっといい年になります。



男子の正装、紋付袴で豆まき

3月3日はお雛様。昔に比べるとお雛様に着物を着る人は少なくなってきましたが お母さんと女の子とお友達という想定でお母さんの訪問着 子供たちは振袖やお被布等を披露してもらいました。



普段はGパンで活発な女の子達も着物を着てはおしとやか

そして春ともなれば結婚式シーズン。女性の結婚式・披露宴にふさわしい着物の勢ぞろいです。女性の第一正装は黒の留袖。近親者の結婚式で着用されます。お招きを受けたお友達、知り合いは振袖や訪問着、付下げ等で披露宴を華やかに彩ります。



留袖の語源は 結婚した女性が振袖の『袖を短かく留め』で訪問着として着た事により由来します。留袖と江戸褌が現在では 同意語として使用されていますが 江戸褌と言うのは江戸時代に芸者衆の間に流行ったすそ模様を着物の呼び方だったんだそうです。

皇室では 女性の黒は喪の色であることから 宮中の正式行事では黒の留袖はタブーで 春秋の園遊会などでも出席者は色留袖を着用されています。

さて春を過ぎると蒸し暑い 梅雨から夏になります。着物の世界もこの暑さから逃れるため いろいろ工夫されています。代表的なのは浴衣ですがこれはくつろぎ着で 出掛けても盆踊りとか花火大会まで。夏の正式な着物としては見た目も涼しげな 紵とか紗の着物があります。共にシースルーの素材です。日本にはその昔からシースルーをたのしむおしゃれ心があったんですね。今回の着物ショーでは夏の着物として一重の訪問着をご披露いただきました。



一重の訪問着



Published by: JAAI Michele Yamanaka (Tel: 260-427-2196) ; T. Tamura (Tel: 260-426-5568)

浴衣にはウチワが欠かせないアクセサリ。腰に挿して粋な着こなしです。

男にとって浴衣以上に快適なのが甚平です。 男の作業着としては作務衣（さむえ）そしてスポーツには 独特の『和』のものがありますが今回のショウでは柔道着を紹介しました。



作務衣



甚平



柔道着

さあー 秋になりました。食欲の秋、美術の秋、おしゃれの秋。 秋は観劇、御茶会、結婚式、美術展などおしゃれをして出掛ける機会が多い季節です。

訪問着、付下げはチョットあらたまった感じがしますが小紋は本当におしゃれ着といった感じですね。



付下げ、小紋 訪問着など秋のお出掛けの装い

秋の大きなイベントの一つに七五三があります。今回の着物ショウでは七五三の衣装をご披露する事ができました。



七五三でお宮参り



師走となれば忘年会ですが忘年会でわざわざ着物を着るといのは聞いた事ありません。忘年会はサラリーマン社会が定着してからの比較的歴史の浅い習慣なのかもしれませんね。師走はアーンと言う間に大晦日。大晦日は年越しの初詣の準備。ショウの最後は振袖に帯のふくら雀を上演してもらいました。長い帯が折り紙を折るかの様に変化していき最後は見事な帯結びが完成です。この振袖も今回のショウのために日本から運ばれてきました。



着付けの大役を担ってくださった豊田さんにみんなで拍手。

今年のポットラックは質、量共に申し分なく お寿司も一段とお正月のムードをたかめました。



大変楽しい、そして美味しいお正月の午後でした。

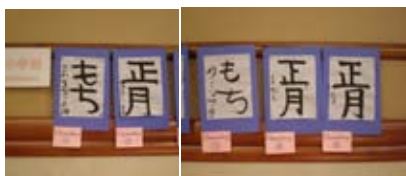
J S S

補習校だより

1月4日に3学期の始業式と書初め大会が開かれました。始業式では年の初めに目標や今年やりたいこと等一言スピーチが生徒全員から発表されました。みんな其々に気持ちも新たな新年を迎えたようです。



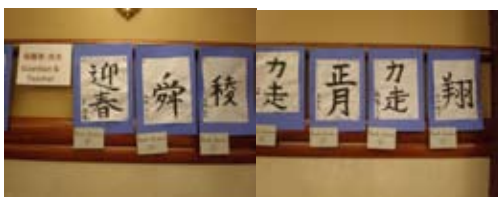
幼稚園



小学校



中高



先生及び保護者



今年は日本文化の継承として書初めを全員で行うことにしました。昨年の比較的早い時期から筆や半紙などの準備に取り掛かり大勢の生徒、保護者の参加にも耐えられるところまで準備が整いました。

国際クラスの生徒も全員参加、保護者の方にも大勢参加いただきました。フランスで今書道が流行っている由。その理由は 禅や茶道に通ずる無の境地、集中できるところにあるらしいと聞いていました。確かにアメリカ人の生徒も日本人の生徒も書初めの最中はかなり集中度の高い目つきで取り組んでいました。集中度を高める訓練に書道はいいかも知れません。

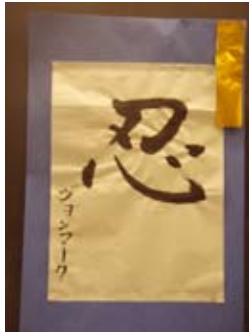


書初め大会風景



Published by: JAAI Michele Yamanaka (Tel: 260-427-2196) ; T. Tamura (Tel: 260-426-5568)

今回の書初め大会は 参加者全員が審査員でもありました。展示された作品に各自が投票して得点数も参考にしながら金賞、銀賞、銅賞をきめました。 これら作品の中で一番得票数の多かった作品が下の写真です。 誰が書いたと思いますか？



投票数トップで金賞に輝いたJon-Mark君の作品

書初め大会前に授業で一度書道の練習をし 書初め大会の日が二度目の挑戦でした。 にも拘らず素晴らしい出来上がりでしょう。

何と15歳のJon-Mark君の作品です。アニメ “Naruto” のファンで『忍び』と言う字は見慣れていたようですがこれだけ良い字が書けるのは 鋭い観察力の持ち主だと思います。



国際クラス

修了式・卒園・卒業式

3月15日、修了式・卒園・卒業式が Ball Room で行なわれました。今年の卒業式は日本式に紅白の垂れ幕も張られ 晴れやかな会場の雰囲気の中とり行われました。高校生で一人、幼稚園で3人が 卒業・卒園の対象者です。



卒園児、卒業生 記念撮影

日本の卒業式同様 校長先生の挨拶に
始まって 運営委員会長、来賓には
IPFWのMR Gary Schottからご挨拶を
頂きました。特に同氏からは

この補習校が日本政府からの援助が得ら
れることになった事を大変喜ばしい

出来事として JSS の発展を祝福するご挨拶でした。



卒園・卒業証書授与の後は送辞 卒園園児・卒業生のスピーチです。

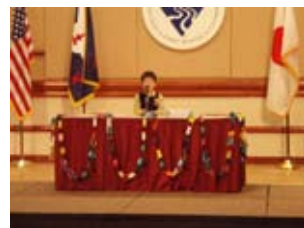
それぞれの節目でのスピーチはどれも驚くほどすばらしいスピーチで卒園児、卒業生の成長を実感する事が出来ました。

各学年とも先生方の懸命な努力で不得意科目に親しみをもたせたり 次の学年への進級準備が整ったりと成果が上がりました。幼稚園児の中には大きな変化を遂げた園児が何人かおられます。日本語力が大幅に向上したり、協調性や団体生活に慣れたり、自立性が向上するなど幼児教育の重要性を改めて認識させられます。



卒園証書・卒業証書の授与

卒園児・卒業生のスピーチは 堂々たるものでした。



在校生の送辞は 二人で行なわれました



中高生と先生方のカルテットの演奏で 卒業園児・卒業生を送りました。

Blackhawk Middle School

JSSでは公立 Blackhawk Middle Schoolの Japan Week に招かれて6年生5クラス。7年生4クラスで 書道体験、着物の歴史及びデモ、茶道の基本理念及びデモを行ないました。さらに 伝統的文化以外にハイテクがらみの携帯電話によるサービスソフトの照会、衛星を利用したカラオケシステム、最近のJ-POP、原宿、渋谷、秋葉原を震源地とする若者文化、日本とアメリカの教育現場の違いなどのプレゼンをしました。



茶道

7年生クラスのお茶のデモではあの話好きな生徒たちがシーンと静まり返りお茶を立てる時のシャキシャキという茶せん（茶杓）の音が教室中聞こえる等こちらも驚くほど真剣な眼差しでデモを見ていました。



『一期一会』は茶道のキーワード。覚えているかな？

書道

バレンタインデーに行なわれた書道ではいくつか用意したお手本の中で圧倒的に『愛』が支持されました。単純にバレンタインデーだからなのか、愛を大切に思っているからなのか、愛に飢えているという信号を発しているからなのかよくは分かりません。



何かにつけてLoveを口にするアメリカ人ですがその割には離婚が多く子供の心に負担が掛かっているだろう事を思うと『愛』という字に何か想いを託したいと無意識のうちにこの字を選んだ人がいても不思議はないように思えます。



トピックス

バスケの田臥選朱手がFort Wayneに来ました。地元Mad Antsとの対戦です。試合は3月13日コロシアムで午後7時開始でした。田臥選手の活躍を観戦するだけでなく試合そのものがシーズンゲームの大変面白い展開でした。ゲームは最後の最後 残り時間あと何秒というところでAnaheimが決めました。地元Mad Antsには申し訳ないが この勝ちゲームで田臥選手も気持ちよくサインできたと思います。事前に田臥選手のレターサイズの写真が届いていましたので 入場時に各自に配布 この写真や帽子、T-シャツなどにサインをしてもらいました。サイン会では若いも若きも我を忘れて田臥選手を囲み結構ミーハーを楽しみました。翌日の彼のブログにはFort Wayneの応援は今まで一番大型のものでとてもうれしかったとコメントがでていました。今後も応援してあげましょうね



背番号10が田臥選手



押されて写真もボケちゃいました

次号は 桜まつり特集です
4月13日、日曜日 午後12時～6時
会場はフォートウエインダウンタウン

Freimann Square公園
Art United Center
Fort Wayne Museum of Art

(Clinton, Main, Lafayette の道路に囲まれたところです。)